

西アフリカにおけるイスラ ムの がり (2/3) : マリ帝国とソンガイ帝国

:

明:

サハラ以南の西アフリカ地域において、いかにイスラ ムが まり、 大な文明が かれ、 地民を多神教から唯一神への崇 へと いたかについて。第二部: マリ帝国、ソンガイ帝国の 史。

目: [事イスラ ムの 史](#)

より: A ラフマ ン I ドイ教授

日 6 Dec 2011

集日 26 Dec 2011

マリ帝国におけるイスラ ム

アル=バクリ によると、マリにおけるイスラ ムの影 は、その 政者がイスラ ムに改宗した15世 にさかのぼります。マリ帝国はガ ナ帝国の 地から勃 しました。マリにおけるイスラ ムでは、二人の著名な人物がいます。スンジャ タ (1230 1255) とマンサ ム サ (1312 1337) です。スンジャ タはマリ帝国の 立者でしたが、イスラ ムの 践においては混合主 を ったため、ムスリムとしての信仰は弱く、学者たちからも嫌 されています。マンサ ム サ に しては敬虔なムスリムで、マリ帝国における事 上の 者であるとなされています。1255年になりスンジャ タが死去すると、ガ ナの旧 属国家だった多くの国々もマンサ ム サ の支配下に置かれるようになりました。彼の には、マッカ巡礼を果たしたマンサ ウリ (1255 1270) が登 しました。

マンサ (皇帝の意) ム サ は1312年に 政者となり、彼の名声はス ダン、北アフリカ、そしてヨ ロッパにまで きました。マンサ ム サ は1312年から1337年まで国を治め、1324 1325年にはマッカへの巡礼 (ハッジ) を行いました。彼は大 のムスリム学者や建 家らをして 国し、初の 瓦建てのモスクを5 造らせました。こうしてイスラ ムは、マンサ ム サ の

代に大きな 援を得たのです。多くの学者たちは、マンサ ム サ はイスラ ムへの 着心を元に、自らの 治における 々な新しい 想を思いついたのであると合意しています。著名な 旅行家であり学者でもあるイブン バトゥ タは、マンサ スライマ ンの 治 代（1341 1360）にマリを れており、マンサ ム サ による政策の である、マリの政治と 展についての卓越した を残しています。マンサ ム サ による巡礼は、多くのムスリム商人や学者たちを魅了した、マリの多大な富と可能性を投影しているのです。これらのムスリム学者、商人たちは、マリの文化と の 展に大きく 献しました。彼の 治期において、チュニジアとエジプトとの外交 が 立し、マリは世界地 にその姿を すこととなったのです。

ソンガイ帝国におけるイスラ ム

およそ11世 、支配 であるザ 、もしくはディア族によってイスラ ムが受容されたのと同じに、イスラ ムはソンガイ帝国に まりました。そこは、ガオとの盛んな交易により繁 していた地域でした。13世 になると、マリ帝国の支配下に置かれていましたが、14世 末には独立し、帝国はスンニ と改名されました。ソンガイの 拓地は 大し、15世 にはスンニ アリの支配の元、1464 1492年の を 治し、西ス ダンの主要な街はすべてソンガイ帝国の 治下となりました。イスラ ム学 の重要都市であったトンブクトゥやジェンネは、1471 1476年の 、彼の支配下にありました。

スンニ アリ は、イスラ ムを利用した名目上のみのムスリムでした。彼はムスリム学者たちを追放し、土着のカルト信仰や魔 を 践していたのです。著名な学者であるアル＝マギッリ がスンニ アリ を 教徒であると名指しすると、彼は を受けました。しかしながら、カルトや魔 の信仰はソンガイにおいて目新しいものではありませんでした。それらは18世 に盛んになった信仰 の 代まで西アフリカに存在していたのです。スンニ アリ に しては、礼 や断食をしていたものの、土着信仰とイスラ ムの折衷を みていたと言われています。学者たちは、それを なる冒 であると呼んでいました。

スンニ アリ による混合の みは、当 イスラ ム学 と文化の中心地だったトンブクトゥの 力者や学者たちによって が唱えられるようになりました。ベルベル人学者たちで有名なアジト族は、司法 官の を担っており、 政者たちに する勇敢な反抗で知られていました

。スンニ アリ は生前、（1469年、1486年に）トンブクトウの学者たちにとって不利な策を用いていました。しかし彼の死と同時に状は一し、イスラ ムとムスリム学者たちは大 利を めました。 の司令官だったムハンマド トウリ が、スンニ アリ の 者だったスンニ バロウにし、公の で自身のイスラ ム信仰について明らかにするよう求めたのです。バロウがそれを拒むと、ムハンマド トウリ はク デタ を起こして政 を い、アスキヤ王朝という自らの名を冠した新しい政 を 立しました。スンニ アリ はマリのスンジャ タと不正の度合いが比 され、アスキヤ ムハンマド トウリ はマンサ ム サ とイスラ ムへの情 において比 されます。

力に就く 、彼はイスラ ム法を 立し、大 のムスリムたちに裁判官としての を施しました。彼は学者たちに惜しめない援助をし、 大な土地を 与しました。彼は有名な学者だったムハンマド アル＝マギッリ の 友となり、彼の支援によって著名なムスリム学者たちはトンブクトウに惹きつけられ、そこが16世 に学 の地となったのです。トンブクトウは西アフリカにおける初のムスリム大学であるサンコレ大学を 立したことも知られています。その名は 在でもイバダン大学の 居住区の通りの名前として残されています。

マリのマンサ ム サ のように、アスキア ムハンマド トウリ は巡礼に赴き、アラブ 国のムスリム学者たちと 切になりました。マッカでは国王による表敬を受け、タ バンを与えられました。彼は国王から、西ス ダンにおけるカリフの称号と を 呈され、1497年にマッカから 国した には、アル＝ハ ッジの尊称を得ました。

アスキアはイスラ ム法の 立に力を注ぎ、彼の友人だったムハンマド アル＝マギッリ にイスラ ム神学についての数々の をしました。アル＝マギッリ は彼の への な返答をし、それをアスキアはソンガイ帝国に めたのです。それらの は、「真のムスリムとは のことか」、「教徒とは のことか」などといった信仰における根本的なものでした。シェイフ ウスマ ン ダン フォディオの著作を むと、アル＝マギッリ を典 とする が引用されているのが分かります。つまり、アスキヤ ムハンマドによって提示された の、アル＝マギッリ による な は、シェイフに多大なる影 を与えたということなのです。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/303>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。